

静岡県漁業協同組合連合会
1118 静岡市追手町 9-18
16.11.12 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 自民党水産関係国会議員と県下漁業関係者との懇談会開催

去る11月8、9日にかけて、自民党と全漁連の呼び掛けにより、自民党水産関係国会議員と漁業関係者との懇談会と現地視察が、全国に先駆けて本県で開催されました。

参加国会議員は、自民党の水産総合調査会の鈴木俊一会長、竹山裕顧問、農林水産部の宮腰光寛副会長、水産基本政策小委員会の高木毅会長代理、本県選出の望月義夫議員、原田令嗣議員、坂本由紀子議員の7名で、水産庁の重義行沿岸沖合課長、坂井淳全国漁港漁場協会会長と全漁連から宮原邦之専務理事、長屋信博漁政部長が参加しました。

伊東市市役所会議室で開催された懇談会には、地元から鈴木伊東市長(県漁港漁場協会会長)、初島から戸田までの伊豆半島の漁協組合長等21名と竹内県水産総室長、大石水産振興室長、県漁連の原田副会長、大崎専務理事を含む総勢45名が出席しました。

懇談会では、定置網漁業への若手漁業者の参入が増えているとの報告に続いて、水産物の輸入制限撤廃反対、最低価格保証制度の確立、食育基本法の成立、漁協・市場の再編への取組みの強化、キンメダイの水銀問題など風評被害防止対策、原油価格の高騰への歯止め、流木等の発生防止と漁場環境の保全、水産予算の確保などの要望が出されました。また、資源保護の観点から沿岸での集魚灯を使った操業の規制と漁港空地の利用緩和措置や、漁業災害に対応出来るような共済掛金の助成が要望されました。

さらに、台風22号の被害状況と緊急対策について市長から報告があり、漁業者からは大きな被害から立ち上がるためには、「国と県の愛情ある対応を望む」との要請がありました。

この後、移動した内浦漁協では、アジなど養殖魚の寿司を味わい、海上から海面養殖漁場と西浦の海水浴場の養浜事業を視察し、沼津魚市場の防潮水門「びゅうお」の展望台で勝亦社長と斉藤沼津市長から市場の整備計画等の説明を受けました。次いで訪れた由比港漁協では、サクラエビ漁業と漁港整備事業の進捗状況を視察し、漁協女性部のサクラエビのかき揚げを楽しみました。

翌日、一行は焼津漁協で西川県漁連会長等の案内で、最新の海外まき網船に乗船しカツオ等の水揚げ状況と新港でマイナス65の超低温冷蔵庫を体感し、前夜の懇談会で要請のあったマグロ・カツオ漁業の直面する厳しい現状を打破する施策展開について意見交換を行ないました。最後に駿河湾海洋深層水の関連施設を視察し、深層水ミュージアムでは戸本焼津市長より深層水の利用実態と今後の計画を、深層水水産利用施設では村松水試場長より深層水の特性と微細藻類の大量培養装置など新たな技術開発の成果について説明を受けました。

両日の懇談を受けて鈴木俊一会長は、静岡県は日本の漁業の縮図とも言うべきところである。資源状況の悪化、魚価の低迷、原油価格の高騰などマイナス要因が多いが、展望を持って地域経済の柱となるよう、しっかり課題解決に努力していきたいと述べまし

た。今後他県でも懇談会を開催して行くとのことであり、厳しい漁業現場の生の声が水産政策の展開に反映されることが望まれました。

2. 県漁協組合長会議実行委員会開催 県当局への要望事項を決定

本会では去る11月10日、県漁協組合長会議の実行委員会を開催し、提起された本県漁業界が当面する諸問題に対する要望事項について協議しました。

その結果、先に開催した県漁協組合長会議で承認を得た、伊勢湾・遠州灘系群トラフグ資源の資源回復計画の推進について、を始めとする8項目(1112にて既報)以外に、新たに三位一体改革に伴う水産予算の確保について 台風22号による漁業被害への緊急対策についての2項目を含め要望事項として決定しました。

また、平成17年度県水産予算編成に対する要望事項を 県漁連等水産関係団体が行なう指導・委託事業に対する支援について 県漁業振興基金への県出捐金について 第11回県水産加工品総合品評会開催に係る補助金の確保についての3項目を取りまとめ報告し了承されました。

3. 第3回おさかな料理コンクール開催される

- 県おさかな普及協議会 -

県おさかな普及協議会では、去る11月6日学校法人鈴木学園中央料理製菓専門学校において、本県で水揚げされる魚介類、海藻類を使い、地元で漁獲される水産物の再認識、地産地消促進と水産物の付加価値向上を図ることを目的として「さかなが主役のお弁当」をテーマに掲げ「第3回お魚料理コンクール」を開催しました。

県内から387作品の応募があり、書類審査を通過した高校生6名を始めとする10名が実技審査に出場し、その参加者は持ち時間(1時間)を最大限活用して、キンメダイの身をほぐしてケーキ風にした作品や、サクラエビを使った揚げパンや、ギョウザの皮をピザの生地に見立てアジのタタキをのせオープンで焼くなど、子どもが喜ぶような個性とアイデアあふれる作品を完成し見ごたえのあるお弁当を仕上げました。

今回のコンクールには多数の高校生からの応募があり、入賞者も出現し今一層、若者のさかな料理への関心の高まりが期待されました。

審査の結果、最優秀賞に朝比奈美帆さん(静岡市)の「海のパティシエ」が輝き、その他の主な入賞者は次のとおりです。

優秀賞：藤田亜紀子(静岡市)「みなとのメルヘン」 優良賞：赤堀まゆみ(焼津市)「元気もりもりプレート!!」 審査員特別賞：廣岡美希(浜松市)「いわしとコーンスープの出会い」(敬称略)

4. 諸会議・日程(11月16日(火)～11月29日(月))

- 既報分省略 -

11月16(火)～18日(木) 共水連県事務所 = 基幹職員養成講座(後期) (藤枝エミナース)
11月19日(金) 県信漁連 = 第9回理事会 (県水産会館)
11月24日(水) 県漁業振興基金 = 伊豆西岸地区協議会 (内浦漁協)
11月26日(金) " = 伊豆東岸地区協議会 (網代港漁協)
" 県漁連 = 平成16年度漁協税務研修会 (県水産会館)
11月27日(土) 県おさかな普及協議会 = おさかな料理教室 (あざれあ)
11月27(土)～28日(日) 県漁連・県養鰻協会 = 産業フェアしずおか出展 (ツインメッセ)